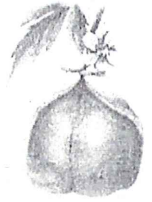


発言ロヤング



手話健常者も理解して

西山 友理 大学生

(三重県鈴鹿市) 18歳

通学で利用する電車には小さい子どもから高齢者まで多くの人が乗っています。最近、手話をしているおじいさんとおばあさんに出会い、私はこの二人をしばらく凝視しました。周りの人に手話がバレないように胸元で小さく手を動かしていたからです。きっと二人は周りの人に変な目で見られるのが不快なのではないかと思いました。

現代は、昔と比べてバリアフリーの施設が増えていて、特別な支援が必要な人にとって、より快適に過ごせるようになってきています。でも、そんな人々を不快にさせるような「他人の目」はいまだになくなりません。自分とは違うという理由だけで、珍しいものを見るかのような視線はよくないと私は思います。

手話は耳の不自由な人にとって当たり前の行為で、それを健常者は理解しなければなりません。それが、全ての人が平等に生きていけるような共生社会への第一歩だと思っています。